

NPO法人北海道歩くスキー協会

令和元年度前期・後期

令和元年6月16日～令和2年3月15日



令和元年度北海道歩くスキー協会通常総会

1、日時：令和元年6月16日(日) 10:30～12:10

2、場所：アサヒビール園 はまなす館

3、参加人員：39名（委任状含む）

4、議題：

(1)平成30年度 会務運営報告、資産報告

(2)平成30年度 事業報告

(3)平成30年度 決算報告

・無線機購入報告について

・期末消耗備品在庫表について

(4)平成30年度 監査報告

(5)令和元年度 会務運営方針(案)

(6)令和元年度 事業計画(案)

(7)令和元年度 予算(案)

・パソコン1台100,000円購入について

(8)令和元年度 理事、監事、名誉会長、顧問

(9)その他

- ・平成30年度正会員在籍者名簿と一般会員在籍者名簿及び令和元年度各在籍者名簿について
- ・メールアドレスの登録について
- ・事務局勤務日の変更について
- ・令和元年度前期事業出欠票について

5、距離認定表彰式

1,000km達成 山田 様

おめでとうございます

6、新規正会員の紹介 葛西 直登 様

7、懇親会 ロイン亭にて 12:20~13:50

* 執行部原案のとおり可決されました

令和元年度 NPO法人 北海道歩くスキー協会 通常総会



丸山会長の挨拶で始まりました



浜島名誉会長ご挨拶・・・参加者:39名



新規正会員の紹介 葛西 直登 さん



懇親会ロイン亭にて大いに飲みました・・新正会員の葛西さんを囲んで・・

「旧千歳線探訪ウォーキング」

1、日 時：令和元年8月18日（日） 09:00～14:00

2、経 路：地下鉄白石駅～環状道り夢の橋～旧月寒駅跡～
大谷地虹の橋～厚別南公園（旧上野幌駅跡）～
国道274号～湯処ほのか温泉 約10.3km

3、天 候：曇り時々晴

4、参加人員： 17名

5、内 容：

●準備体操後出発しました。旧千歳線サイクリングロードは東札幌～北広島迄で白石区は「ふれあいロード」、厚別区は「陽だまりロード」、北広島市区域はエルフィンロードと呼ばれ今回は白石区と厚別区の10.3kmを全員が完歩致しました。

●旧国鉄千歳線の跡地を利用した当コースは新緑の並木の囲まれ野鳥がさえずり**道路端の花壇**には色とりどりの花がきれいに咲いていました。そんな中を多くの市民がウォーキングやジョギング、サイクリングをして汗を流していました。又多くの公園の一つに厚別南公園は、旧国鉄千歳線の上野幌駅跡地に作られた公園で駅舎があった小高い丘には駅のシンボルだった**イチイの木**が今も残り、美しい花や緑に囲まれていたという往時の面影を偲ばせていました。

●初めて参加した70代の男性は「沢山のトンネル内には、**モザイクタイルアート**があり、地域住民が協力して制作した不揃いのタイルは素朴なぬくもりがありました。又景色を眺めたり、会話をしたり、とても楽しかったです」と笑顔で話していました。

●湯処「**ほのか**」に到着後はお楽しみの温泉入浴で汗を流し疲れを癒しました。昼食会ではビール等を飲みながら親睦を深め、それぞれ三々五々に帰宅しました。

本日のコース説明



準備体操





出発前の集合写真・17名





会話・景色を楽しむ一行



タイルモザイク作成中



会話・景色を楽しむ一行……

白石東ぼうけん公園

旧千歳線の跡に面してある公園で、昭和40年代まであった旧千歳線の大谷地駅跡地であったことが分かります。

(下)

当公園で記念写真

白石・歴しるべ

大谷地駅跡

北海道鉄道株式会社により、旧の線から道庁札幌支線の鉄道道は、2年かけて大正15年（1926）9月に完成。同日付日、大谷地駅は貨物駅として営業した。この鉄道沿線の順路「十勝・石狩は、木野・新野・石巻・クローン山など東部が豊富な地域で、資源の開発に便を導いた鉄道であった。

千歳には専用用行線があり、新千歳における唯一の通過の駅としてこの地に私鉄の線路が付けられ、昭和19年（1944）2月7日、国鉄千歳線大谷地駅はローカル線となった。

昭和40年（1977）2月2日、新しい千歳線が開通したことで旧線が廃止となり、大谷地駅は廃止された。



大正15年に開業した当時の大谷地駅



後続を待つ一行



新緑の中を歩く



新緑を抜けると湯処ほのか温泉温泉です



湯処ほのか温泉到着



「湯処ほのか」では温泉入浴・昼食会ではビール等を飲みながら親睦を深めました

札幌中央区「円山」登山

1、日時: 令和元年9月29日(日)

地下鉄円山公園駅バスターミナル9:45分集合

2、場所: 中央区「円山」(標高225m)・札幌市円山動物園

3、経路: 地下鉄円山公園駅9:45～円山登山口(円山大師堂)

10:00～山頂10:40着(10:55発)下山～円山動物園

裏11:20～円山動物園(昼食・見物)

4、天候: 曇り～雨～晴れ、気温18℃(登山口で)

5、参加人員: 12名

6、内容:

- 円山は、藻岩山、三角山と並んで、年間を通して健康のため登る人が絶えない山で、登りは八十八ヶ所コース、下りは動物園コースを歩きました。家族連れも多くみられ、3歳くらいの子供がお父さんと手をつないで頑張っている姿が微笑ましく、参加者からは「ガンバレ」の掛け声が出ていました。

- 約40分で頂上。天気予報では「曇り」だったのに、歩き初めにはパラパラと降り出し、樹木のない頂上では、大粒になってきて、記念写真を1枚撮り、一路、動物園に向け下山しました。
- 動物園にたどり着くと、雨は嘘のように上がり、青空が見えてきました。参加者からは「雨男」は誰だとの声が出ていましたが、雨男は誰だったのでしょうか？円山動物園には、初めてとか、何十年ぶりとかの参加者も多く、昼食後は、新しくなった「ゾウ舎」「ホッキョククマ館」などを童心に帰って楽しく見学しました。
- 下山途中、先頭が掲げる「歩くスキー協会の旗」を見た女性登山者から「2～3年前一緒に信濃神社に行きました」と声をかけられてびっくりしました。世の中広いようで狭いものだと思います。
- 今回、「円山原始林」として天然記念物に指定されている円山に登りましたが、札幌のような大都市の都心近くにこのような原始林が残されていることはとても珍しいということで、大切に守り伝えていかなければならないとの思いを新たにしました。



円山登山集合写真



円山(標高225m)頂上での記念写真



円山頂上から見た札幌街がよく見下ろせました



円山動物園では新しくなった「ゾウ舎」「ホッキョククマ館」などを童心に
帰って楽しく見学しました・・・昼食・ビール等で乾杯・・・くつろぐ一行

「令和元年度後期集会 & 懇親会」

1、日時：令和元年11月24日(日) 9:30~12:00、12:15~懇親会

2、場所：アサヒビール園

3、参加人員：28名

4、集会内容：

(1)理事長挨拶

(2)令和元年度後期事業計画について各運営長が紹介

(3)正会員、一般会員の現状について

(4)令和元年度助成金、寄付金、広告収入の現状

(5)令和元年度の出欠表について

(6)中学生XCスキー学習支援について

4、講演：・低体温症の防ぎ方と気象の見方(事例に即して)について
講師：浜島 泉 (協会 名誉理事長)

5、懇親会：ロイン亭でバイキングの食事をしながら今シーズンへの意気込みを皆さんで話し会いました。

NPO法人 北海道歩く又キ一協会 後期集会



丸山会長挨拶・・・(アサヒビール園にて)



参加者28名



真剣に聴く参加者

低体温症の防ぎ方と気象の見方

講師：浜島 泉名誉理事長



懇親会：今シーズンへの意気込みを皆さんで話し会いました

令和元年度 救命救急講習会

1、日時：令和元年12月7日(土)13:30～16:30

2、場所：市民活動プラザ星園2階 中会議室

3、参加人員：8名

4、講師：浜島 泉医師 (NPO法人北海道歩くスキー協会名誉会長)

5、テキスト：

(1)「とっさの時の救急ガイド」(札幌市消防局)および「心肺蘇生法」
(日本医師会)

(2)「低体温症の防ぎ方」(浜島先生)

6、内容：講義、実技

(1)応急手当の基礎知識に関する講習

(2)一次救命処置に関する講義

(3)一次救命処置に関する実技:AEDの使用法 (4) その他

●協会主催の救命救急講習会は、第1回を平成17年(2005年)12月に厚別消防署で開講し、第11回平成28年～13回平成30年(2018年)迄場所を新札幌のJCHO北辰病院で、本年は**市民活動プラザ星園**に移しての講習会となりました。

講師は第1回～第11回までは札幌市防災協会でしたが、第12回から講師料教材料が有料となったため、教材は札幌医師会から借り、講師は協会医師の**浜島先生が担当**することになりました。

●協会医師の浜島先生が担当となったことで、**医療現場に即した講義と実技**の内容となっています。また、今回は、札幌市消防局のテキスト「とっさの時の救急ガイド」と併せて浜島先生の「低体温症の防ぎ方」も使用したので、協会の冬季事業活動に密着した、かつ早期の認識と迅速さを求められる救命救急活動への理解が深まりました。

●救命・救急に関しては、毎年救命・救急現場からのフィードバックにより、テキストや講習内容が適切に更新されていますので、**毎年受講することが重要**となっています。今回は参加人員が8名と少なめでしたが、当講習会の重要性をご理解いただき多数の皆様の参加をよろしくお願い致します。



説明する浜島先生

2019 12 07

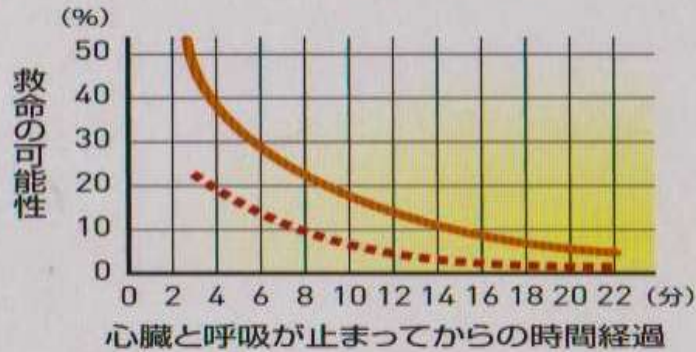
命を救う四つの輪：救命の連鎖の講義
「予防⇒早期認識・通報⇒一次救命処置（更に二次救命処置：救命救急士や医師による処置）」



一次救命処置：現場での救命の連鎖の実技
「早期認識・通報⇒胸部圧迫⇒AED」

身近なあなたにかかっています。

救命の可能性は時間とともに低下しますが、救急隊の到着までの短時間であっても救命処置をすることで高くなります。



— 居合わせた人が救命処置をした場合
- - - 救急車が来るまで何もなかった場合

出典:『救急蘇生法の指針(市民用)』図3「救命の可能性と時間経過」より引用



エーザイ株式会社



大切ないのちを救う

心肺蘇生法

日本医師会

<https://www.med.or.jp>

2014

☆心肺蘇生法のパンフレット (表)

●居合わせてた人の一時救命措置が旧名の可能性を高めます

心臓疾患による突然死は、皆さんで防げます！



心肺蘇生法のパンフレット(裏)

早期認識・通報から一次救命処置への連鎖(A, B, C, D)救命の可能性を高めます

A:気道確保 B:人工呼吸(省略可) C:胸部圧迫 D:AED

第40回 障害者歩くスキーの集い

1、日時:令和2年1月12日(日) 10:00～開会式 体操後スタート

2、場所:滝野公園溪流ゾーン「せせらぎコース」

3、コース: 6km、3km、1km

4、天候: くもり 気温-3.0℃、雪温-3.0℃ 積雪 10cm

5、参加人員:心身にハンディのある方及び健常者134名

6、内容:

●今年特別雪の少ない札幌ですが滝野公園でも雪が少なくやっと大会が実施できる状態になりました。コースカッターも入らず歩きずらかったこと思いましたが、各人一生懸命にまた仲間と楽しく歩いていました。

●今回はアシリベツの滝方向が台風被害の工事中のため使用できず、7km 5kmはやめて6km、3km、1kmの3コースとなりました。

- 6kmに参加の30代の男性は今日は寒くもなく雪もよくすべったので気持ち良かった、また川には魚が泳いでいるのが見えましたと言っていました。
- 鱒見の滝は激しく水が流れていて記念写真を撮るメンバーもいました。
- この大会は障害者に優しい大会で毎年この大会を楽しみにしている参加者がいると引率者の方が言っていました。又、ボランティアの方も多数参加していただき大会を盛り上げていただきました。
来年も参加をお願い致します。
また、このイベントは後日、朝日新聞に掲載されますので御覧になって下さい。



参加人員:心身にハンデイのある方及び健常者134名(開会式)



開会式





準備体操





完走目指して



3kmスタート



鱒見の滝に向かって・・・



まだまだ元気です

鱒見の滝も見ることができました
大会に参加して満足でした…



少し疲れて来ました



ゴールは間近です

